

平成30年度ふくおか「ふるさと寄附金」 活用状況報告書

ふるさと寄附金へのご協力ありがとうございました。



この度は、多くの皆様から多大なご寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成30年度は、延べ1,011人の方から11,765,488円のご寄附をいただきました。

今回、寄附金の活用状況について、ご報告させていただきます。

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、県民生活「安定」「安全」「安心」の向上に全力を尽くしてまいりますので、今後とも福岡県を応援していただきますようお願いいたします。

福岡県知事 小川 洋

平成30年度にいただきました寄附金の受け入れ状況は、下表のとおりです。

	活用方法	件数(件)	寄附額(円)
	福岡県の施策全般 「県民幸福度日本一」の福岡県づくりに向けた取組み全般	214	2,476,000
1	平成29年7月九州北部豪雨からの復興	524	6,281,898
2	バイオ・メディカル産業の振興	16	160,000
3	県産農林水産物の販売・消費の拡大	20	200,000
4	移住定住の促進	3	30,000
5	子どもの貧困対策	103	1,146,390
6	いじめや不登校などへの対応	21	210,000
7	国際的視野を持つ人材の育成	15	150,000
8	男女共同参画の推進	4	40,000
9	高齢者が元気で活躍する社会の推進	22	410,000
10	障がいのある方の収入向上と社会参加の推進	9	90,000
11	世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承	14	120,800
12	ジュニアアスリート指導者の育成強化	3	30,000
13	ふくおかスポーツ振興プロジェクト	3	30,000
14	暴力団の壊滅に向けた対策の推進	11	110,000
15	豊かな自然と生物多様性の保全	29	280,400
	合計	1,011	11,765,488

寄附金の活用状況について、一例をご紹介します。



福岡県
マスコット
キャラクター
エコトン

1. 平成29年7月九州北部豪雨からの復興

- ・災害復旧と併せて、河川の改良工事や砂防施設の設置を行い、災害の再発防止を図りました。
- ・被災地に広く消費を呼び込むため、朝倉市、東峰村の商工会議所・商工会が行う復興支援プレミアム付き地域商品券の発行を支援しました。



2. バイオメディカル産業の振興

- ・バイオ関連企業の一大大集積拠点の形成による久留米地域を中心とした産業振興を目指し、製品・技術開発に対して助成しました。(研究開発助成数 育成成型6件、実用型2件)



3. 県産農林水産物の販売・消費の拡大

- ・首都圏、関西圏、県内等において博多和牛や天然魚、あまおう等を使ったフェアを開催しました。(開催店舗数 延べ678店舗)
- ・海外6か国(地域)の百貨店等において、販売促進フェアを延べ26回開催するとともに、バイヤー招へいや商談会出展、市場調査を実施しました。(農林水産物輸出額 33億6,000万円)



4. 移住定住の促進

- ・首都圏をはじめ県外からの移住を促進するための相談窓口「ふくおかよかところ移住相談センター(東京、福岡)」において、相談を受けるとともに、しごと、住宅、起業等に関する相談会やセミナーを実施しました。(相談件数 3,114件、セミナー・相談会参加者数 1,132人)



5. 子どもの貧困対策

- ・市町村が実施する生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯に対する放課後児童クラブ利用料減免に要する経費の一部を助成しました。(実施市町村 52市町村)



6. いじめや不登校などへの対応

- ・高等学校の不登校・中途退学防止対策として、学業不振や学校不適應に悩む生徒等の学業継続を支援するため、私学団体が行う学習支援事業に対して補助を行いました。



7. 国際的視野を持つ人材の育成

・県内の高校・大学等が主催する海外体験プログラムに参加する学生への支援を通して、国際的な視野を備え、地域はもとより世界を舞台に活躍する青年の育成を目的として支援を行いました。

(支援プログラム数 16、参加者数 190 人)



8. 男女共同参画の推進

・男女共同参画の視点からの避難所運営に関する報告や、避難所運営の模擬体験を交えた「女性のための災害対応力向上講座」を実施し、非常時の対応力を備えた女性リーダーを育成しました。(修了者数 235 人)

・地域の政策・意思決定の場で活躍することができる女性人材を育成するため、「地域のリーダーを目指す女性応援研修」を実施しました。



9. 高齢者が元気で活躍する社会の推進

・「福岡県 70 歳現役応援センター」では、高齢者の活躍の場を開拓するとともに、専門相談員が再就職やボランティア活動等、一人ひとりの希望に合った進路を提案、あっせんし、進路決定を支援しました。(高齢者向け求人開拓件数 1,413 件 (580 社)、進路決定者数 1,611 人)



10. 障がいのある方の収入向上と社会参加の推進

・県内の障がい児者による美術作品を集め、入賞作品の制作者を表彰するとともに、県庁及び県内の文化施設で展示しました。

・デパート催事場で、県内の「まごころ製品」を一堂に集めて 6 日間販売しました。(参加施設数 48 施設、来場者数 13,501 人)



11. 世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承

・明治日本の産業革命遺産

世界遺産としての価値を発信する巡回企画展や構成資産等を巡るスタンプリー、バスツアーを開催しました。(巡回企画展参加者数 20,798 人)

・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

世界遺産登録 1 周年記念イベントの開催やパンフレット・ホームページの充実、パネル展といった広報活動を行いました。



12. ジュニアアスリート指導者の育成強化

・県内の優れた指導者による指導法を競技団体で共有する取組みを実施した 26 競技団体に指導者の活動経費を助成しました。

・トップアスリート輩出の育成システムを後押しするために、指導者を海外派遣した 2 競技団体に派遣旅費等を助成しました。



13. ふくおかスポーツ振興プロジェクト

- ・ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地の誘致に取り組みました。(キャンプ受入市町村数 13市町)
- ・ラグビーワールドカップ2019のカウントダウンイベントや日本代表戦等のパブリックビューイングの実施、ラッピングバスの運行等により県内の気運醸成に取り組むとともに、各種イベント等での大会PRや九州3都市合同でのPR活動に取り組みました。



14. 暴力団壊滅に向けた対策の推進

- ・暴力団排除の気運を醸成するため、県内3地区で暴力団追放地域決起会議を開催しました。
- ・暴力団に対する取締りを徹底し、工藤會中枢幹部等多数を凶悪事件や資金源犯罪で検挙したほか、暴力団組員の社会復帰対策を強化する等、総合的な暴力団対策を推進しました。(暴力団構成員の検挙者数 193人、警察支援による暴力団からの離脱者数 107人、警察支援による就労者数 19人)



15. 豊かな自然と生物多様性の保全

- ・英彦山及び犬ヶ岳地区で増加したシカによる食害から絶滅危惧植物の保護を推進するため、シカの捕獲等を実施しました。(捕獲頭数 318頭)
- ・絶滅危惧植物の種子の採取、冷凍保存、苗の植え戻し等を実施しました。



ふくおか「ふるさと寄附金」トピックス

- ・令和元年度 お礼の品の拡充・見直しを行いました。



※写真はお礼の品の一部です。

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁総務部税務課管理係
電話：092-643-3062 FAX：092-643-3069
電子メール：furusatokifukin@pref.fukuoka.lg.jp
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県 ふるさとチョイス

検索